

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2024年度(令和6年度)第3回理事会議事録

1. 開催日時 2024年7月29日 13:00-16:00
2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議
3. 出席者 理事数 20名
出席理事 15名 (定足数11名 会議成立)
4. 議長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン
理事 小口 高
理事 阿部 なつ江
理事 原田 尚美
理事 高橋 幸弘
理事 大谷 栄治
理事 沖 大幹
理事 小口 千明
理事 掛川 武
理事 田近 英一
理事 成瀬 元
理事 堀 利栄
理事 宮嶋 敏
理事 村山 泰啓
理事 和田 浩二
監事 春山 成子
監事 松本 淳

6. オブザーバー

| | |
|-----------------------|--------|
| 事務局長 末廣 潔 | |
| 情報システム委員会委員長 | 興野 純 |
| ダイバーシティ推進委員会委員長 | 坂野井 和代 |
| 大気水圏科学セクションプレジデント | 佐藤 薫 |
| 大気水圏科学セクションバイspreジデント | 野中 正見 |
| 地球人間圏科学セクションプレジデント | 須貝 俊彦 |
| 地球人間圏科学セクション幹事 | 松多 信尚 |
| 地球生命科学セクションバイspreジデント | 大河内 直彦 |
| 学協会長会議議長 | 鷺谷 威 |

7.審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件

・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2号議案 新規委員承認の件

・各委員会委員を審議した。これを承認した。

第 3号議案 団体会員 山の科学会入会承認の件

・定款第8条2項および法人運営基本規則第3条の定めに従い、山の科学会の入会を審議した。これを承認した。

・日本学術会議は「日本学術会議協力学術研究団体」の基準として「年に一回以上のジャーナルの発行」を定めている。これに対し、「学会によっては単独出版が難しいという状況のため、日本学術会議に対して合同での発行も認めてほしい」という意見があるという情報があった。

第 4号議案 公開シンポジウム洋上風力2024共催の件

・日本学術会議総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会、日本学術会議地球惑星科学委員会IUGS 分科会による「海底地質災害と洋上風力開発」の共催について審議した。これを承認した。

第 5号議案 SEEPS2024 年大会 企画セッション共催の件

・環境経済・政策学会(SEEPS)との企画セッションの共催を審議した。これを承認した。

第 6号議案 理数系学会教育問題連絡会の規約改正案の承認について

・理数系学会教育問題連絡会の規則の改訂について、JpGUとしてこの改訂を審議し、承認した。

第 7号議案 ジョイントミーティングタスクフォースの件

・JpGU-AGU Joint Meeting2026に向けての国際企画タスクフォース(仮)の設置を審議した。これを承認した。

第 8号議案 AI学会とのTask Force タスクフォースの件

・人工知能学会共創活動タスクフォース(仮)の設置を審議した。これを承認した。タスクフォースに関する申し合わせでは任期は2年と定められているが、本タスクフォースの任期は、延長含め5年を見込んでいる。

第 9号議案 RDMタスクフォースの件

・RDMタスクフォースの主査を大谷理事に交代すること、また会長副会長の交代に伴うメンバーの交代を審議した。これを承認した。

・設置期限は11月までのため、あらためてその時期に延長の手続きを予定している旨報告があった。

8.報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

・倫理委員会について説明があった。

・ユニオンサイエンスボードについて説明があった。

2. 小口 高理事 職務報告

- ・副会長として、総務委員会、グローバル戦略を担当、サポートする旨報告があった。
- ・2026年ジョイントミーティングに向けた活動の報告があった。JpGU側・AGU側間での研究者のマッチングが必要となる。セッションを通じた情報収集、複数セッションにまたがるワーキンググループの準備、JpGUに対応セッションのないAGUセッションへの対応、過去のジョイント活動のとりまとめなどの案が提示された。

3. 阿部 なつ江理事 職務報告

- ・副会長として、ダイバーシティ推進委員会、教育検討委員会、大会運営委員会を担当、サポートする旨報告があった。
- ・AGUの呼びかけで活動しているGlobal Geoscience SocietyのタスクチームのうちInclusion and representativeについて活動報告があった。顕彰関連のInclusionを向上するため各団体の規則やガイドラインをまとめている。

4. 原田 尚美理事 職務報告

- ・副会長として、広報普及委員会、環境災害対応委員会、顕彰委員会を担当、サポートする旨報告があった。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・ウォリス会長より代理で、ジョイントミーティングの財務計画について検討している旨報告があった。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・グローバル戦略関連の報告があった。AOGSへの参加報告があった。中国からの参加者が増えており、運営体制にも変化が見られるという報告があった。

7. 道林 克禎理事(総務担当)職務報告

- ・事務局より代理で総務関連の報告があった。
- ・前回理事会以降に後援したイベントの紹介があった。
- ・労務関連の報告があった。社会保険、雇用保険関連の届け出を行った。大会特別手当を支給した。事務局職員に夏季休暇を付与した。
- ・義援金について報告があった。能登半島地震義援金を石川県庁に送付した。台湾地震義援金は引き続き募集する。

8. 成瀬 元理事(財務担当)職務報告

- ・財務関連の報告があった。2024年大会の収支について報告があった。

9. 和田 浩二理事(大会運営担当)職務報告

- 大会関連の報告があった。
- ・2024年大会の特徴や統計データについて報告があった。
- ・参加者アンケートの結果について報告があった。
- ・抽出した主な課題について報告があった。
- ・大気水圏セッションより要望があった。学生優秀発表賞について、審査申請があったにも関わらず審査員がポスター掲示場所に行ったところ発表者がいなかったという例があったため、専用コアタイムを設けるなどを検討してほしい。

- ・会長より能登半島関連緊急セッションの参加者が多数であったことに言及があり、謝意を伝えたいという意見があった。

- ・小口千明理事より、防災学術連携体より共催セッションとしての表示が不十分であるという指摘があったことが紹介された。和田委員長より、現状では共催申請は団体会員等に限られており、一定の承認手続きを経ているという説明があった。

10. 沖 大幹理事(グローバル戦略担当)職務報告

○グローバル戦略関連の報告があった。

- ・会議を開催した。2026年ジョイントミーティングに向けて英語セッションの推進、参加補助について検討した。今後も具体的な内容について検討する。

11. 広報普及委員会活動報告(田近理事)

○広報普及関連の報告があった。

- ・JGL8月号の編集を行っている。実験的に、小中高の希望者に冊子体を配布する。

- ・JpGU大会の高校生セッションが舞台となっている小説『宙わたる教室』がNHKでドラマ化される。JpGUの名称は多少改変され架空の存在として登場する。

12. 環境災害対応委員会報告(小口 千明理事)

○環境災害対応関連の報告があった。

- ・7月16日に委員会を開催し、新体制について検討した。

- ・2024年大会での活動の報告があった。パブリック2、ユニオン2(計測技術のユニオン、線状降水帯のパブリック、に加え、能登半島地震の緊急パブリックセッションと緊急ユニオンセッション)の委員会主導セッションを開催。うち3つが防災学術連携体との共催。能登半島地震セッションを元にした論文集を発行するという報告があった。

- ・継続性のため、学協会推薦以外の委員を設けることにした。あわせて、セクションからも委員を募ることを検討している。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告(堀利栄理事)

○ダイバーシティ推進関連の報告があった。

- ・AGU、EGUとの連携で活動を進めている。本年はAGUとのセッションを予定している。

- ・男女共同参画学協会連絡会より、幹事会の打診があった。将来的には委員会で検討する。

- ・大会時のキャリアイベントの開催報告があった。

- ・大会時の保育ルームの運営報告があった。

- ・委員会新体制の報告があった。

14. 教育検討委員会活動報告(宮嶋敏理事)

○教育検討関連の報告があった。

- ・教員講習を4件開催する。いずれも最少催行人数を満たしており、開催準備をしている。

- ・2024 度第2 回理数系学会教育問題連絡会の参加報告があった。AIに関するシンポジウムの検討を行った。

15. 情報システム委員会活動報告(村山担当理事)

○情報システム関連の報告があった。

- ・RDMタスクフォースの活動報告があった。6機関のデータリポジトリの紹介があった。webにも掲載する予定である。
- ・また、JSTが新たなデータリポジトリ「GRANTS Data」を準備している旨、報告があった。
- ・新会員システムの準備状況の報告があった。まず最初の契約で業務要件・課題の整理等を行って文書化し、コンペを経て業者を決定し、本契約を行った後、要件定義書の作成も含め、本開発計画を実施する流れで進めると説明があった。

16. ジャーナル関連活動報告(掛川理事)

○ジャーナル関連の報告があった。

- ・PEPSの最新IFは3.5, 5年IFが3.6, など昨年よりやや低下しているが、今年はジャーナル全体に低下傾向がみられる。
- ・本年はPEPS創刊10年に当たる。記念すべき年にQ1にランクされたことは喜ばしい。
- ・編集委員会を開催した。企画経営委員会の委員長を後藤委員に交代した。また、ワーキンググループの設置を検討している。
- ・投稿・編集・出版について報告があった。

17. 顕彰委員会活動報告(道林理事)

- ・委員会の新体制について検討した旨事務局より代理での報告があった。

18. その他

○固体地球科学セクションより報告があった。セクションミーティングにおいて大会時にアルバイトの方に強く当たる事例が報告された旨、紹介された。

和田委員長より、事例について認識しているとの返答があった。会長より、倫理委員会も拡充して、これに対応できるルール作りをする必要があるという意見があった。

- ・また、事務局に対してもハラスメントがある場合があるため、対策が必要であるという意見があった。

○松本監事より、国際会議GEWEX-OSCの第9回大会の開催報告があった。国際会議としての参加者が900人規模という盛会となった。JpGUの後援に対して謝辞が述べられた。

○会長より、理事会の開催について年に1回程度、対面開催をしたいという提案があり、反対はなかった。Zoomでのハイブリッド開催は技術上難しいことが予想され、対面のみ絞るなどを検討する。

以上

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後16時00分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。
(捺印欄配布時省略)

2024年7月29日

出席理事 ウォリス サイモン 印

| | | | |
|------|----|-----|---|
| 出席理事 | 小口 | 高 | 印 |
| 出席理事 | 阿部 | なつ江 | 印 |
| 出席理事 | 原田 | 尚美 | 印 |
| 出席理事 | 高橋 | 幸弘 | 印 |
| 出席理事 | 大谷 | 栄治 | 印 |
| 出席理事 | 沖 | 大幹 | 印 |
| 出席理事 | 小口 | 千明 | 印 |
| 出席理事 | 掛川 | 武 | 印 |
| 出席理事 | 田近 | 英一 | 印 |
| 出席理事 | 成瀬 | 元 | 印 |
| 出席理事 | 堀 | 利栄 | 印 |
| 出席理事 | 宮嶋 | 敏 | 印 |
| 出席理事 | 村山 | 泰啓 | 印 |
| 出席理事 | 和田 | 浩二 | 印 |
| 出席監事 | 春山 | 成子 | 印 |
| 出席監事 | 松本 | 淳 | 印 |